

自己領域化現象とは、公共の場に私的な事柄を持ち込み、あたかも自分だけの世界でかのように、または私生活の一部と勘違いしているかのようには振舞う現象です。私はこの自己領域化現象が広まっていくことによって今後2つの事態が起こりうると思います。

まず1つ目は、コミュニケーション能力の喪失です。例えば、家族で食事をしている場面を考えてみます。その日の出来事や今後の予定などを家族みんなで楽しく話しているとき、誰かのスマートフォンにメールが届き、その人がメールやチャットに夢中になったとします。その人だけがたった一つのメールを合図に家族の団欒から離脱し、そのまま自分の世界に入ってしまう。

家族というのは、本音で話をできるという点でコミュニケーション能力を鍛える道場のような側面があります。この家族という小さな集団でさえ意思の疎通がうまくいかないということは、学校とか会社、地域などのより大きな社会集団でもコミュニケーションを図ることが難しくなるでしょう。コミュニケーション能力の欠如は自分の意思を上手に発信できないことを意味し、集団の中で誤解を生じます。大きな視点で見ると、国際社会や日本社会で誤解というダメージを引き起こす可能性もあると考えます。

2つ目は、「日本人」としての魅力が減ってしまうことです。従来、日本人には他人への配慮や気遣いができる人が多いという印象を国際社会で持たれていました。その長所である特質が自己領域化現象により減ってしまう気がします。一旦自己の領域に没入してしまうと周囲が見えなくなります。この現象によって他人への配慮や気遣いができない人が増えてくると考えます。これは日本人の特質を損ねるものだと言えます。

このように自己領域化現象というのは社会に悪影響を与えます。しかし、これにストップをかけることはとても難しいことです。だから、私は一人ひとりの意識改革によってこの問題を改善することを目指すべきだと思います。そのために、小中学校などでインターネットとの付き合い方や使い方を学ぶ授業を導入することなど意識改革の取り組みが必要だと思います。